

第5章 緊急時の対策

5.1 事故の未然防止

- (1) 収集・運搬を行う者は、収集・運搬中の事故等の未然防止に努めなければならない。このため、PCB 廃棄物の取扱いに十分留意し、漏洩防止等、必要な措置を講ずるものとする。
- (2) 収集・運搬を行う者は、運搬車輛及び積替え・保管施設に予め防災備品を備えておく必要がある。

【解説】

- 1 収集・運搬を行う者は、PCB 廃棄物に関して積込み、積下し等の作業、積替え・保管、運搬中の事故又は火災等により、生活環境への影響又は従業員等の健康被害が生じないように、これらの事故等を未然に防止することが重要である。このため、本ガイドライン(案)に従い、PCB 廃棄物の取扱いに十分留意するとともに、以下の措置を講じることが必要である(第2章参照)。

漏洩防止措置

揮発防止措置

高温にさらされないための措置

腐食防止措置

火災防止措置

盗難・紛失の防止措置

- 2 運搬車輛を運転する者は、ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、運搬中の PCB 廃棄物に衝撃を与え、又は、PCB 廃棄物を転倒させるなどにより PCB 廃棄物が漏洩しないような速度と方法で運転しなければならない。収集・運搬を行う者は、運搬車輛を運転する者に対して、安全運転を行うよう指導しなければならない。
- 3 収集・運搬を行う者は、収集・運搬中の事故等による PCB 廃棄物の流出、火災等の被害を防止するため、運搬車及び積替え・保管施設に保護衣、吸着材、砂、消火器等の防災備品を常備する必要がある。常備しておく防災備品・防災設備リストを表5.1に示す。
- 4 消防法の危険物に該当する PCB 廃棄物を指定数量(第4類第3石油類にあっては、2,000 L)以上保管し、又は取り扱う者は、消防法の定めるところにより、当該事業所に自衛消防組織を置き、防火管理者を定め、消防計画の作成、当該消防計画に基づく消火、通報及び避難の訓練の実施、消防の用に供する設備の整備等、防火管理上必要な業務を行なわせなければならない。

表5.1 防災備品・防災設備リスト(例)

種 類	防災備品の一例	備 考
保護衣	化学防護服	
保護手袋	耐油性、耐磨耗性	
保護長靴	耐油性、爪先鋼板入り	
呼吸用保護具	ろ過式マスク(直結式・隔離式) 給気式マスク(自給式、送気式)	ろ過式マスク
保護眼鏡	硬質プラスチック製 軟質塩化ビニル製	ゴーグルタイプ
流出・飛散防止用具	吸着マット、吸着材、ウエス、土砂	
回収用具	シャベル、容器(オープンドラム缶等)	
消火設備	粉末消火器、泡消火器 二酸化炭素消火器	粉末消火器
通報・連絡設備	電話(携帯電話、PHS)無線、GPS	
緊急時対応マニュアル等	緊急時対応マニュアル(6.2節)緊急連絡網	

備考欄は、防災備品の設置スペースが少ない運搬車輛に推奨される防災備品を示す。

5.2 緊急連絡体制

- (1) 収集・運搬を行う者は、PCB 廃棄物の収集・運搬中の事故等緊急時における関係者への連絡体制を予め整備しておかなければならない。
- (2) 収集・運搬を行う者は、緊急時における連絡先及び収集・運搬従事者が対処すべき事項を記載した緊急時対応マニュアルを携帯しなければならない。

【解説】

- 1 収集・運搬を行う者は、PCB 廃棄物の収集・運搬中の事故等緊急時に関係者に対して速やかに通報し、その被害及び影響を最小限とするための対策が講じられるよう、予め都道府県（政令市にあっては、市。以下同じ）担当部局、消防署、警察署等の関係者と協議し、必要な緊急連絡体制を整備しておかなければならない。図5.1に緊急連絡体制（例）を示す。

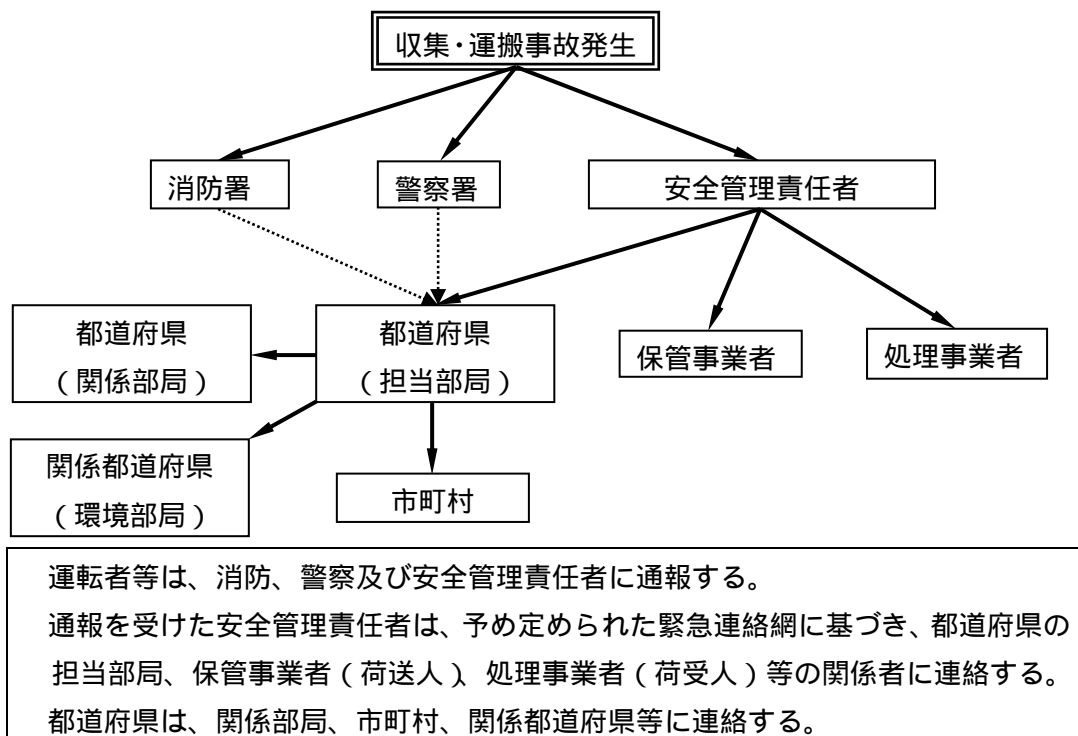


図5.1 緊急連絡体制(例)

- 2 安全管理責任者は、事故等の緊急時における連絡先、被害を防止するために必要な措置を記載した緊急時対応マニュアルを定めるとともに、収集・運搬従事者は、当該マニュアルを携行することが必要である。表5.2に緊急時対応マニュアルの例を示す。緊急時対応マニュアルの作成には、(社)日本化学工業協会のイエローカード(PCBは指針番号171)も参考になる。イエローカードとは、化学製品の輸送時に発生した事故に対する措置、連絡通報事項等を明記した書面である。

表5.2 緊急時対応マニュアル(例)

品 名	PCB (ポリ塩化ビフェニル)	国 連 番 号	2 3 1 5
イエローカード 指針番号	1 7 1 (低、中程度の有害物質)		
緊 急 措 置	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジンを停止する。 ・ 緊急通報・連絡を行い、その指示に従う。 ・ 火災時は、可能であれば初期消火を行う。 ・ 漏洩時は、危険でなければ、吸着材等で流出を防止する。 ・ 道路への表示、他の道路使用者、付近住民等への警告を行う。 		
緊 急 通 報	1 1 9 (消防署) 1 1 0 (警察署) 高速道路非常電話 <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ 時 分頃 ・ どこで 市 地区 道、線 付近で ・ なにが 「PCB.....」が ・ どうした 飛散、流出しています / 火災になっています ・ けが人は けが人がいます / けが人はいません ・ 私の名前は 運送会社 です 		
緊 急 連 絡	特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署、電話番号を記入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会 社 名 _____ ・ 住 所 _____ ・ 電 話 平日(昼間) _____ 休日(夜間) _____ ・ 運行を管理する者名 _____ 		
火災時	運搬車両	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通報するとともに、積載の消火器で初期消火する。 ・ 危険であれば速やかに避難する。 	
	積替え・ 保管施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通報するとともに、消火設備で初期消火する。 ・ 危険であれば速やかに避難する。 ・ 可能であれば、PCB 廃棄物を火災区域から移動する、容器を水で冷却する等の対策をとる。 ・ 可能であれば、消火用水をせきとめ、後で適切に処理する。 	
漏洩時	液体漏洩	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 ・ 危険でなければ洩れを止める。 ・ せき止めて吸引回収し、残留物は吸着材で取り除き、漏洩場所から移動して、後で適切に処理する。 ・ 排水溝、下水口、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 	
	固体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粉末のこぼれは飛散しないようにして回収する。 ・ シャベル等を用いて、容器等に回収し、後で適切に処理する。 	
暴露・接触時の応急 処置 いずれの場合も医 師の診断を受ける	蒸気吸入	新鮮な空気の箇所ですぐに安静にする。	
	皮膚接触	PCB に汚染された衣服を脱ぎ、水並びに石けん水(アルカリ性の強いものは使用しない)で洗浄する。	
	眼	多量の洗浄水で15分以上洗眼した後、3%のホウ酸水で洗眼する(コンタクトレンズをはずす)	
	口腔内に入った場合	吐き出して水でうがいを繰り返す。 安静。	
事 後 処 置	緊急処置が終了した後は、関係都道府県・政令市等に状況報告を行う。		

5.3 緊急時の措置

収集・運搬を行う者は、緊急時対応マニュアルに基づき、必要な応急措置、防災対策を行わなければならない。

【解説】

- 1 緊急時の措置は、対応マニュアルに基づき、以下のとおり行うものとする。

関係機関への通報等

- 1) 収集・運搬従事者は、運搬車輛を安全な場所に止め、又は、作業を中止し、直ちに応急措置（吸着材、消化剤等で現状に応じた流出防止措置、初期消火を行う）を講じて、付近の者に避難等の警告を行うとともに、消防署、警察署及び緊急連絡先（安全管理責任者）に通報、連絡し、その指示に従う。
- 2) 緊急連絡を受けた者（安全管理責任者）は、都道府県に連絡を行う。
- 3) 収集・運搬従事者は、付近に関係者以外が立ち入らないようにし、緊急時対応マニュアルに基づき防災対策を行うとともに、消防、警察が現場に到着した場合には、当該マニュアル、PCB 廃棄物を取り扱う際に注意すべき事項を記載した文書等携行書類を消防、警察に提示する。
- 4) 特に PCB 廃棄物が公共用水域に流出し、土壌に漏出し、又は大気に放出された場合には、収集・運搬従事者は、直ちに引き続く PCB 廃棄物の流出を防止するための応急措置を講ずるとともに、緊急連絡先を通じて都道府県に連絡を行い、その指示に従う。

流出・拡散の防止

- 1) 収集・運搬従事者は、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護手袋等を着用し、流出した PCB 廃棄物を吸着マット、吸着材、ウエス、土砂等に吸収させ、又はウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。
- 2) PCB 廃棄物が付着した汚染物は、PCB 廃棄物として適切に処理する。

消火

- 1) 積載又は設置している消火設備を使用し、消火する。
- 2) 消火用泡等は、流出を防止し、後で適切に処理する。

環境モニタリング調査

- 1) PCB 廃棄物が公共用水域に流出し、土壌に漏出し、又は大気に放出された場合には、その原因者は環境モニタリング調査等必要な措置を講ずる。